

【研究テーマ】 中学校外国語科における積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に関する研究
ー小中連携による言語活動の充実を通してー

【研究仮説】 外国語科の授業において、小中連携による言語活動の充実により小学校外国語活動の内容を踏まえた指導を行えば、生徒の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することができる。

小学校外国語活動・中学校外国語科交流授業 学習指導案（小5・小6・中1）

日 時 平成24年10月2日（火）5校時

場 所 見島小学校5・6年教室

指導者 T1 梅津 麻由美（中学校）

T2 植杉 謙太郎（小学校）

- 1 単元名 【小学校5・6年生】 中学生との交流授業～オリジナルモンスターを作ろう～
【中学校1年生】 Unit 5 お祭り大好き

2 単元設定の意図

(1) 児童生徒観

【小学校5・6年生】

本学級の児童（5年男子1人、6年男子1人）は、英語に興味をもち、前向きに授業に取り組んでいる。6月に実施した実態把握調査の結果から、児童は外国語活動の授業をとっても楽しいと感じていることがわかる。特に、英語の歌やゲーム、電子黒板を使った授業、ALTとの交流などに高い関心を示し、積極的に活動に取り組んでいる。しかし、初めて耳にする言葉を口にするときには、間違いを恐れて声が小さくなってしまふことがある。そのため、英語の音声や表現に十分に慣れ親しませて、自信をもたせる必要がある。

【中学校1年生】

本学級には、5人（男子1人、女子4人）の生徒が在籍している。6月に実施した実態把握調査の結果から、生徒は小学校外国語活動の時間に英語を学習することが楽しかったと感じていることがわかる。しかし、その反面、中学校では文字や文法の学習が始まり、テストもあることなどから英語は難しいと感じ、英語に対して苦手意識をもち始めている。文字を読んだり、書いたりすることが苦手な生徒も、英語をもっと理解したい、自分で使ってみたいという気持ちをもっているため、その意欲を維持・向上させていくことが課題である。

(2) 教材観

【小学校5・6年生】

本単元では数を尋ねたり、答えたりする表現を復習しながら、How many ～?の表現に慣れ親しむことをねらいとしている。児童の興味・関心を高めるために、言語材料は身近にある色や形を中心に扱う。身近な題材を用いることで、児童は具体的なイメージを頭の中に描きながら、自信をもって言語活動に取り組むことができる。本単元は、色や形を用いて友だちと楽しく英語で活動することに適した教材といえる。

【中学校1年生】

本単元で扱う How many ～?の表現については、小学校外国語活動の時間に音声言語として、既にふれている。しかし、文字言語として How many ～?を学習するのは、この単元が初めてである。本単元は、生徒が小学校で慣れ親しんだ表現を文字や文法と結び付けてスパイラルに学ぶことができる教材である。また、身近な題材を用いて友だちと英語でやりとりしながら、コミュニケーションの楽しさを感じさせるとともにコミュニケーションへの関心・意欲を高めていくのに適した教材といえる。

なお、本単元は小学校外国語活動教材の以下の単元と学習内容や言語材料が関連している。

- | | | | |
|------------------|----------|------------------|------------------|
| ①「英語ノート 1」 | Lesson 3 | How many? | 数で遊ぼう |
| “Hi, friends! 1” | Lesson 3 | How many? | いろいろなものを数えよう |
| ②「英語ノート 2」 | Lesson 2 | AaBbCc | いろいろな文字があることを知ろう |
| “Hi, friends! 2” | Lesson 1 | Do you have “a”? | アルファベットクイズを作ろう |

(3) 指導観

【小学校5・6年生】

児童が自信をもって英語を話すことができるように、指導に当たっては、次のことに留意したい。

ア 学習過程の工夫

同じ言語材料に「ふれる」→「慣れる」→「使う」という学習過程を設定する。段階的に学習を進めていくことで、児童は英語への慣れ親しみの度合いを高め、英語を話すことへの抵抗感を徐々になくしていくと考える。

イ 小学校教員と中学校教員のティームティーチング

小学校教員は、児童が英語を話すときのモデルとなるように積極的に英語を話す。その際、英語がすぐに出てこなかったときはジェスチャーを使ったり、発音を間違えたときにはもう一度発音をしたりするなど、児童が戸惑ったときに行いそうな行動を予測して英語を話す。また、中学校教員は、英語の音声モデルを務め、アクセントやイントネーションに気をつけて英語を発音する。

【中学校1年生】

生徒の関心・意欲を高め、英語に対する苦手意識を克服させるために、指導に当たっては、次のことに留意したい。

ア 単元構成の工夫

交流授業を小中連携の柱として位置付け、交流授業とその事前学習・事後学習を含めた単元全体を通して小学校と中学校の学習内容を結び付けた言語活動を設定する。そうすることで、小学校での経験を中学校での学習に生かすことができ、英語に苦手意識をもつ生徒が英語学習への自信を取り戻していくと考える。また、事後学習で英語を書く活動を行うことにより、英語を正確に理解したり、伝えたりするためには、中学校で学ぶ文字言語や文法の知識が必要であることに気付かせる。音声・文字・文法の知識を活用することでコミュニケーションの場を広げ、コミュニケーションに対する関心・意欲を高めていきたい。

イ 主体的な学習態度の促進

交流授業では中学生が司会・進行を務め、小学生とともに活動に取り組む。生徒が学習リーダーになることで、友だちと協力し合いながら主体的に活動に取り組んでいくことが期待できる。また、自分たちの英語が小学生に伝わるようにジェスチャーを使ったり、ゆっくり発音したり、繰り返し発音したりして積極的に英語を使うことで、コミュニケーションの楽しさを感じることができるようになると考える。

3 単元目標

【小学校5・6年生】

- ・相手意識をもち、英語を聞いたり、話したりする。 [コミュニケーションへの関心・意欲・態度]
- ・数を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 [外国語への慣れ親しみ]
- ・日本語と英語の音の違いに気付く。 [言語や文化に関する気付き]

【中学校1年生】

- ・コミュニケーションスキルを活用して、積極的に英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする。 [コミュニケーションへの関心・意欲・態度]
- ・英語を話したり、書いたりして、内容を正確に伝える。 [外国語表現の能力]
- ・英語を聞いたり、読んだりして、内容を正確に理解する。 [外国語理解の能力]
- ・How many ～? の文の形・意味・用法を理解する。 [言語や文化についての知識・理解]

4 学習・評価計画

【小学校5・6年生】(全3時間) ※チームティーチングでは、中学校教員がT1、小学校教員がT2を務める。

時	主な学習活動・内容 小中連携の視点	評価の観点・評価規準・評価方法		
		コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気 付き
1	色や形、数の言い方に 慣れ親しむ言語活動 ・小中教員による指導 案の検討 ・チームティーチン グの実施		色や形、数を聞いたり、 言ったりしている。 (観察)	日本語と英語の音の違 いに気付いている。 (観察・振り返りシー ト)
2	色や形、数を尋ねたり、 答えたりする言語活動 ・小中教員による指導 案の検討 ・チームティーチン グの実施		色や形、数を尋ねたり、 答えたりしている。 (観察)	
3 本 時	交流授業 ・小中教員による指導 案の検討 ・チームティーチン グの実施 ・児童、生徒、小中教 員の交流	相手に伝わるように工 夫をして尋ねたり、答 えたり、発表をしたり している。 (観察・振り返りシー ト)		

【中学校 1 年生】（全 8 時間）※チームティーチングでは、中学校教員が T 1、小学校教員が T 2 を務める。

時	主な学習活動・内容 小中連携の視点	評価の観点・評価規準・評価方法			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	数の言い方と名詞の複数形を理解するための言語活動 One cup. Two cups. ・外国語活動を踏まえた活動の工夫	英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする活動に積極的に取り組んでいる。(観察)			名詞の複数形の形・意味・用法を理解している。(ワークシート)
2	数を尋ねたり、答えたりするための言語活動 How many CDs do you have? I have eighty CDs.	英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする活動に積極的に取り組んでいる。(観察)			How many ~? の文の形・意味・用法を理解している。(ワークシート)
3	提案をしたり、指示を出したりするための言語活動 Let's try <i>kingyo sukui</i> . Use this net.	英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする活動に積極的に取り組んでいる。(観察)			Let's ~. の文と命令文の形・意味・用法を理解している。(ワークシート)
4	Unit 5 の復習のための言語活動		読み手に伝わるように正確に英語を書くことができる。(ワークシート)	英語を読んで、内容を正確に理解することができる。(ワークシート)	名詞の複数形・How many ~? の文・Let's ~. の文・命令文の形・意味・用法を理解している。(ワークシート)
5	交流授業の準備のための言語活動①・②		聞き手に伝わるように正しく適切に英語を話すことができる。(観察)	話し手の英語を正確に聞き取ることができる。(観察)	
6	・小中教員による指導法の検討				
7 本時	交流授業 ・小中教員による指導案の検討 ・チームティーチングの実施 ・児童、生徒、小中教員の交流	小学生の模範になるように、コミュニケーションスキルを活用して、英語を聞いたり、話したりしている。(観察・振り返りシート)			
8	小学生へのメッセージの作成	英語を書く活動に積極的に取り組んでいる。(観察・作品・振り返りシート)	小学生にメッセージの内容が伝わるように英語を書くことができる。(観察・作品)		

	<ul style="list-style-type: none"> ・難しそう。 ・何て言うのだったかな。 ・中学生に尋ねてみようかな。 	<p>◎〔小学生〕相手に伝わるように工夫をして尋ねたり、答えたりしている。 【関心・意欲・態度】(観察)</p> <p>◎〔中学生〕小学生の模範となるように、コミュニケーションスキルを活用して、英語を聞いたり、話したりしている。 【関心・意欲・態度】(観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を忘れてしまったら、どうしよう。 ・小学生が困っているときは英語を教えてあげよう。 ・小学生と話すときは、ゆっくり話すようにしよう。 												
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">渡す人：Hi.</td> <td style="width: 50%; border: none;">受け取る人：Hi.</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">渡す人：What color do you want?</td> <td style="border: none;">受け取る人：Yellow, please.</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">渡す人：OK. Big or small?</td> <td style="border: none;">受け取る人：Big, please.</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">渡す人：OK. How many yellow stars do you want?</td> <td style="border: none;">受け取る人：Three, please.</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">渡す人：OK. Here you are.</td> <td style="border: none;">受け取る人：Thank you.</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">渡す人：Bye.</td> <td style="border: none;">受け取る人：Bye.</td> </tr> </table>				渡す人：Hi.	受け取る人：Hi.	渡す人：What color do you want?	受け取る人：Yellow, please.	渡す人：OK. Big or small?	受け取る人：Big, please.	渡す人：OK. How many yellow stars do you want?	受け取る人：Three, please.	渡す人：OK. Here you are.	受け取る人：Thank you.	渡す人：Bye.	受け取る人：Bye.
渡す人：Hi.	受け取る人：Hi.														
渡す人：What color do you want?	受け取る人：Yellow, please.														
渡す人：OK. Big or small?	受け取る人：Big, please.														
渡す人：OK. How many yellow stars do you want?	受け取る人：Three, please.														
渡す人：OK. Here you are.	受け取る人：Thank you.														
渡す人：Bye.	受け取る人：Bye.														
17分	<p>4 オリジナルモンスターの紹介 (Show and Tell) (流れ)</p> <p>①ドミノマスクを付ける。 ②T 2のデモンストレーションを見る。 ③中学生のデモンストレーションを見る。</p> <p>Hi. I'm ～. (間をあける) I have orange eyes. I have black ears. I like ～. Do you like me? (中学生は1文追加する) (中学生は反応を示す)</p> <p>④オリジナルモンスターを見せながら、中学生、小学生の順に紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊張するかもしれない。 ・間違うかもしれない。 	<p>○T 1は発表をするときの留意点を児童生徒に思い出させる。 ○T 2は児童の発表の仕方を実演する。I have orange ～.と言いながら、自分の体の部分を指差して、中学生に単語を教えてもらう。中学生に単語を教えてもらった後に、再度、I have orange eyes. と言い直す。 ○T 2が指差した体の部分の英単語を中学生に見せて支援する。</p> <p>◎〔小学生〕相手に伝わるように工夫をして発表している。 【関心・意欲・態度】(観察)</p> <p>◎〔中学生〕小学生の模範となるように、コミュニケーションスキルを活用して、英語を聞いたり、話したりしている。 【関心・意欲・態度】(観察)</p>	<p>4 オリジナルモンスターの紹介 (Show and Tell) (流れ)</p> <p>①ドミノマスクを付ける。 ②T 2のデモンストレーションを見る。 ③デモンストレーションを行う。</p> <p>Hi. I'm ～. (間をあける) I have orange eyes. I have black ears. I like ～. Do you like me? (中学生は1文追加する) (中学生は反応を示す)</p> <p>④オリジナルモンスターを見せながら、中学生、小学生の順に紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊張して早口になってしまうかもしれない。 ・大きな声で英語を話そう。 <p>⑤モンスターを見て、“Cute!” “Funny!” “Big!”などの言葉を使って反応を示す。</p>												
5分	<p>5 振り返り (自己評価と相互評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は緊張したけど、楽しかった。 ・中学生はいろいろな英語を使って話していた。 	<p>○T 2は児童生徒の活動への取組状況を称える。 ○T 1は児童生徒が気付いていないポイントを指摘し、価値付けを行う。</p>	<p>5 振り返り (自己評価と相互評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊張したけど楽しかった。 ・小学生に英語を教えることができた。 ・小学生は一生懸命に英語を使って話そうとしていた。 												